

まちの話題

町的话题を紹介しています。
皆さんの身近な情報をご連絡
ください。

■連絡先
総務課企画財政グループ
(広報担当)
電話 25 - 2131
FAX 25 3571

kysomu@town.kiyosato.hokkaido.jp

「きよさと焼酎」今年の仕込みが始まる

9月9日、焼酎工場で多くのテレビ局や新聞社、居合わせた観光客が注目するなか、今年のじやがいも焼酎の仕込み作業が本格的に始まりました。今年には原料のじやがいもを70トン、麦12トン、かぼちゃ3tを使用し、アルコール度数25%に換算して120キロリットル、720ミリリットル入りの製品が、およそ16万7千本生産されます。



現在、焼酎醸造事業所では、麦焼酎とかぼちゃ焼酎の新製品販売に向け準備を進めており、町民みなさんをはじめ多くの方に愛飲されることが期待されます。

「子ども農園」で秋の収穫体験

春に「子ども体験農園」に植え付けたジャガイモや玉葱、とうもろこしなどの収穫が、やまと幼稚園や清里保育所の園児、なかよしクラブの児童、子育て支援センターを利用する親子の皆さんが参加し行われました。

春の植え付けから指導にあたってきたボランティアの皆さんと一緒に作業が行われ、自分で植え付けた作物の生育に「こんなに大きくなった」と驚きの声があがりました。収穫した作物は、早速その場で調理され、参加した皆さんと一緒に食べて秋の味覚を味わいました。



斜里岳の標高が千547mに



日本百名山としても知られ、清里町のシンボルとしてまちを見守る「秀峰斜里岳」の標高が2m高くなりました。国土地理院の山岳標高によれば、これまで山頂付近の三角点の位置をもって標高が千545mとされていましたが、空中写真からの測量により新たに標高点が求められ、現在は標高点の数値をもって千547mとされています。

東日本軟式野球2部北・北海道大会開催

9月13日、14日の2日間、第31回東日本軟式野球大会2部北・北海道大会が清里町で開催されました。雄大な斜里岳をバックにした町営球場で



行われた今大会、厳しい予選大会を勝ち抜き、出場した道内各地の16チームの選手たちによって、はつらつとしたプレーが繰り広げられ、チーム相互の交流と親睦が深められました。また、当町からも「田中スポーツ」チームが網走支部の代表として出場し、準決勝まで進む活躍を見せてくれました。

秋季高校野球大会で清里高校が大健闘

北見市営球場で行われた秋季高校野球北見支部大会において、清里高校野



球部が大健闘しました。清里高校は、1回戦を32、2、2回戦を15、0と圧倒的な試合内容で勝ち進み、準決勝の網走桂陽高校戦では、中盤にリードを許すも終盤に主軸の活躍で11、6と逆転勝利を飾り代表決定戦に駒を進めました。

9月14日に行われた代表決定戦の相手は北見柏陽高校。試合は接戦となり終始緊迫した試合展開でしたが、選手たちは強豪相手でも気後れすることなく互角の戦いを見せてくれました。結果は2、5と惜しくも代表の座を逃してしまいました。が、応援に駆けつけた保護者や生徒たちは、健闘した選手たちを讃え大きな拍手を送っていました。

清里中学生徒が陸上競技で全道大会に出場

櫻村俊貴くん（2年生・砲丸投げ）、本松優太くん（2年生・千500m）、上本歩直美さん（2年生・100m）の3名が、第15回北海道中学校新人陸上競技大会網走地区予選会で上位入賞し、見事全道大会への切符を手に入れました。9月4日には橋場町長に全道大会出場の報告を行いました。

9月20日、21日の2日間、深川市で行われた全道大会では、惜しくも入賞とはなりませんでしたが、生徒たちにとって次につながる大会となりました。



晴天のもと、清高強歩大会と少年少女マラソン大会

9月13日、恒例の清里高校の交通安全強歩大会が行われました。

交通安全をPRするゼッケンを身につけ、男子は33キロメートル、女子は25キロメートルを走破。この交通安全ゼッケンは、交通安全宣言校の生徒である自覚と交通ルールの再確認を目的に作成されています。保護者の協力によりおにぎりや豚汁が用意され、各関門での激励があると生徒たちも笑顔で応え、長い道のりを仲間同士で励まし、競い合いながら走り抜きました。

また、同日には少年少女マラソン大会兼ファミリジョギング大会も行われ、今年も、町内の小学生201人、中学生136人と28組の親子が参加。沿道からの大きな声援を背に受け、子どもたちは歯をくいしばりながら日頃の走り込みの成果を出していました。

この日は晴天に恵まれ、絶好のマラソン日和となりましたが、さわやかな秋風を受けながら街中を疾走しました。

清里小児童によるリサイクル活動が行われました



9月1日、清里市街で清里小学校の児童により、古新聞、古雑誌、空き瓶を回収するリサイクル活動が行われました。この活動は、青少年赤十字活動の一環として、環境の大切さを学ぶとともに地域の

方々の温かさにふれながら働く喜びを感じ取ることができる体験学習として長年取り組みが行われています。毎年この活動の収益金により高齢者施設などに介助器具を寄贈しており、今年も地域や社会貢献に役立つ予定です。

園児とお年寄りの交流会



9月19日、プラネット97において、「ことぶき大学交流会」が開催されました。この事業は、子どもたちに敬老の気持ちを深めることと、世代間

交流が目的とされています。この日参加したのは、やまと幼稚園児45名、ことぶき大学生43名の計88名。交流会では、お手玉やおはじきなどの昔ながらの遊び、園児たちによるハーモニカの発表が行われ、最後には、園児たちの手で肩たたきのプレゼントがされました。

各地域、施設で敬老会が行われました



9月13日、羽衣町南自治会（自治会長 斉藤清明さん）で自治会主催の敬老会が行われました。この日は、地域に住む多くの皆さんや75歳以上の対象者29名が集まり、ゲーム大会やカラオケやダンスなどの余興に楽しいひとときを過ごしました。この活動は、まちづくりの制度として発足した地域活動推進事業により行われており、本年も各自治会で敬老事業が実施されています。

また、9月15日には「介護老人保健施設きよさと」「特別養護老人ホーム清楽園」で敬老会が行われ、入所者はお互いの長寿と健康を祝い合いました。余興では、民謡や舞踏などが次々と披露され、参加された入所者の皆さんは家族と一緒に楽しいひとときを過ごしました。

きよさとの味覚と景観を満喫

「きよさと花と景観めぐりバスツアー」「田園工房ポプラ秋の収穫祭」

9月6日、「きよさと花と景観めぐりバスツアー」が開催され、参加者は清里町の景観スポットやオーブンガーデンを周遊し、清里の食材を使ったバーベキューと天然温泉を満喫しました。



また、この日は上斜里コスモスロード駐車場にある「田園工房ポプラ」で野菜直売が行われ、「清里メロン」や「トウモロコシ」など清里町直産の新鮮野菜が並び、バスツアーの参加者や町内外から多数のお客さんが清里の秋の味覚と見頃となったコスモスの景観を堪能しました。